

平成 16 年 7 月 14 日

南海電気鉄道株式会社

高野山地区の世界遺産登録記念イベントの第二弾！

## 「高野山世界遺産登録記念コンパスカード」を発売します

南海電気鉄道株式会社（社長 山中 諄）では、このたび高野山地区を含む「紀伊山地の霊場と参詣道」の世界遺産登録が決定したのを記念して、高野山を代表する建造物の一つである「金剛峯寺」をデザインした、スルッとKANSAI 対応の「高野山世界遺産登録記念コンパスカード」を 7 月 16 日（金）から順次、各駅の駅窓口にて発売します。

現在当社では、高野山地区の世界遺産登録記念イベントの第一弾として、特別ヘッドマークを取り付けた車両を運転しているほか、記念横断幕を主要駅に、またほぼ全駅に記念駅貼ポスターを掲出するなど、全社をあげて高野山の世界遺産登録を記念しております。

「高野山世界遺産登録記念コンパスカード」の発売はその第二弾として位置づけ、さらにお客さまの高野山への誘致を図ります。

詳細は別紙のとおりです。



高野山世界遺産登録記念コンパスカード

## 別紙

「高野山世界遺産登録記念コンパスカード」について

1. 発 売 額    1,000 円
2. 発売場所    当社の各駅窓口
3. 発売時期    平成 16 年 7 月 16 日（金）から順次発売

< 参 照 >

「金剛峯寺」の概要

文禄二年（1593）八月に豊臣秀吉により青巖寺（せいがんじ）として建立されました。その後、明治二年（1869）九月に現在の名称である「金剛峯寺」に改められました。

金剛峯寺は高野山真言宗の総本山で、全国 3,600 に及ぶ末寺の宗務を執っています。

歴史に名を残す絵師・狩野丹幽の筆による豪華な襖絵で飾られた部屋や、豪壮な台所などがあります。

【参考文献】「絵本 高野山」山陰石楠 著（発行 アド南海）

以上